科目コード	S25101	科目名	聴覚障害Ⅰ				
履修区分	必修	開講期	1年前期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	山崎　和子						
授業の概要	聴覚障害について概要を学ぶ。聴覚の疾患や障害および聴覚検査法を含む評価・診断を理解するために必要な基礎的事項を学習する。						
DPとの関連	①人間を広い領域から捉え、人を愛する心と専門技術を統合できる能力を身につける						△
	②言語聴覚障害学について深い専門的知識を修得し、それを臨床において適切に応用することができる能力を身につける						◎
	③職務遂行に必要な社会性、倫理観、専門職業人としての自覚を身に付け、多様な患者、家族、医療・福祉関係者等と円滑なコミュニケーションを取ることができる能力を身につける						△
	④複雑で多様な障害について常に科学的に探究する姿勢をもち、積極的に自己研鑽し続ける能力を身につける						○
	※DP：ディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）＝修了までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	聴覚障害に関する基礎的な概念や用語を説明できる。 聴覚障害の種類、評価法、各種の検査方法の概要を説明できる。						
履修上の注意事項	基本的な受講のルールを遵守してください。						

授業計画

回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
1	聴覚の機能と障害	事前：教科書第1章を読む。（120分） 事後：教科書、配布資料を基にまとめる。（120分）
2	きこえの仕組みと聴覚障害の原因	事前：教科書第3章を読む。（120分） 事後：教科書、配布資料を基にまとめる。（120分）
3	聴覚の評価法	事前：教科書第4章の該当する箇所を読む。（120分） 事後：教科書、配布資料を基にまとめる。（120分）
4	聴覚検査の目的と種類	事前：教科書第4章の該当する箇所を読む。（120分） 事後：教科書、配布資料を基にまとめる。（120分）
5	標準聴力検査の目的と解釈	事前：教科書第4章の該当する箇所を読む。（120分） 事後：教科書、配布資料を基にまとめる。（120分）
6	他覚的聴力検査の目的と解釈	事前：教科書第4章の該当する箇所を読む。（120分） 事後：教科書、配布資料を基にまとめる。（120分）
7	閾値上聴覚検査の目的と解釈	事前：教科書第4章の該当する箇所を読む。（120分） 事後：教科書、配布資料を基にまとめる。（120分）
8	聴覚補償とコミュニケーションモード	事前：教科書第5章を読む。（120分） 事後：教科書、配布資料を基にまとめる。（120分）

成績評価方法	期末試験100%（講義時間中に実施するミニッツペーパーの内容も勘案する） ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書	言語聴覚障害学　聴覚障害学　第3版【城間将江　鈴木恵子　小渕千絵　編集】（医学書院）	978-4260043502
参考書	言語聴覚士のための聴覚障害学【喜多村健　著】（医歯薬出版）	978-4263212653

教員からのメッセージ	講義終了後は、資料および教科書の該当するページを読み返し、ポイントを把握するようにしてください。
教員との連絡方法	講義終了後、教室で。授業時以外は、専任教員に連絡してください。
実務経験のある教員	療育センター耳鼻科外来にて臨床経験のある言語聴覚士が担当します。小児から成人まで必要とされる聴覚障害の基本的知識、評価方法について獲得することを目指します。